

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハーティワン桃園		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)
○従業員評価実施期間	2026年 2月 9日		～ 2026年 2月 28日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	近くに思い切り運動が可能な大きな公園がある。(猪名川運動公園) 自然を身近に感じる事ができる自然環境。	外遊び、プログラム活動の際、各々が自分のしたい事があるので子ども達で話し合う時間を設けている。子どもたちで考える事を大切にしている。虫取り、植物の採集が身近に体験できる。	今後も子どもたちの「〇〇したい」気持ちを尊重し、ルールや約束事を確認しながら、子ども達が主体的にのびのび、いきいきと活動できるように支援していく。
2	室内でも広いスペースが確保できている。	室内活動プログラム等を実施している。子ども達が気軽に参加できるような雰囲気づくりに務めている。梅雨期、夏期、冬期等の保健衛生に留意し、室内の温度の調節や消毒、こまめな換気を定期的に行い、水分補給を取り健康的に過ごせるようにしている。	室内活動時には年齢、個人の発達段階を配慮したプログラムを提供しているが、個別に評価しながら全体のプログラムを組み立て、検討していく。
3	様々な学年の児童が在籍しており、関係性を持つことができる。(異年齢集団活動) 他児と一緒に活動をする事を通し、かかわりを深め、集団としての活動を楽しむ事ができる。	発達段階が異なる児童が集まるため、それぞれが楽しめる活動を工夫している。	年齢が異なるため、年齢に応じた安全性の確保。職員に対しての研修を今後も継続、実施していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会、保護者同士で交流する機会を設ける取り組みが出来ていない。	保護者同士が顔を合わせる機会が少ないこと。保護者の就労、多忙等により参加が難しい。	今後、保護者の意見、意向を確認して検討していく。安全に保護者間交流ができる体制をつくりを考えていきたい。
2	緊急時(災害発生時)に備え、定期的な避難訓練をしているが、実際の事態が起こった際にスムーズに行動、対応ができるよう、今後も訓練を行っていく事が必要だと考える。	災害時(水害等)の場合、当施設の場所が氾濫時の危険区域内である。	災害に備え、継続して避難準備をしておく。(災害備蓄品の定期的なチェック等)また定期的な避難訓練等の実施を今後も行っていく。
3	幅広い年齢層の職員が居てるが男性職員の人数が少ない事が課題として挙げられる。	現在の社会全体の人材不足の課題と関連していると思われる。イメージと社会の認識、少子高齢化等が考えられる。	今後も事業所の魅力が伝わる採用活動に取り組んでいく。(職場環境改善、キャリアパス、教育制度の整備等)働きやすさを多様なツールを使い発信していく。